

## 2 田んぼアート観覧者数 万人 & 累計 10 万人達成

田んぼアートの観覧者数が、8月20日(日)に今年度2万人、23日(日)には累計10万人を達成しました。

達成時にはそれぞれセレモニーが行われ、2万人目となった関谷晋さん・由起子さん夫妻(栃木県矢板市)、累計10万人目となった佐久間美典さん・淳さん夫妻(矢吹町)と美典さんの姉の吉田洋子さん(栃木県那須塩原市)には、記念品として町産の果物や野菜、田んぼアートで収穫するお米などが贈られました。



累計10万人目となった佐久間さん夫妻と吉田さん(中央)



左から、林局長、守弘さん、遠藤町長

## 長 長田守央氏への叙位伝達式 年の功績を称え

7月31日(月)役場町長室で、長田守央氏(元鏡石町長)への叙位(従六位)伝達式が行われました。

長田氏は、昭和57年6月から平成6年6月まで町長を3期12年務め、平成17年4月には旭日双光章を受章しています。

伝達式では、林昭彦県中地方振興局長から長男の守弘さんに賞状が伝達され、長田氏は「亡くなった父も喜んでいと思います。ありがとうございます。」と話しました。



左から、遠藤町長、文江さん、和倫さん、林局長

## 多 深谷莊一氏への叙勲伝達式 大な貢献を称し

8月30日(水)役場町長室で、深谷莊一氏への叙勲(旭日単光章)伝達式が行われました。

深谷氏は、平成7年4月から平成15年4月、平成19年4月から平成23年9月まで町議会議員を務め、平成19年5月から平成21年4月まで副議長を務めたほか、町商工会長などを歴任しています。

伝達式には、妻の文枝さんと次男の和倫さんが出席し、林昭彦県中地方振興局長から文枝さんに賞状が伝達されました。



草刈りに取り組む参加者

## 身 「道の日」道路奉仕作業 近な道路を大切に

8月10日(木)の「道の日」にあわせ、町建設業協同組合により道路の奉仕作業が行われました。

この奉仕作業は、経済を支え、生活を維持するために欠かすことのできない道路について、改めてその意義・重要性に対する関心と道路愛護の精神を高めることを目的として、当町では平成7年から行われていました。震災の影響もあり実施が見送られていましたが、この度復活となり、参加者は歩道沿いの草刈りを行いました。

## 夏 鏡石ふるさと祭り の風物詩

8月6日(日)に鏡石駅前で、鏡石ふるさと祭りが開催され、約5,500人が夏の祭りを楽しみました。

祭りでは、初開催の「かがみ石を盛りあげ手」をはじめ、ガリガリ君早食い大会、びしゃんこ綱引き、YOSAKOI(鏡踊爛會)などが行われました。

夕方からは、鏡石駅前盆踊り保存会による懸賞付き盆踊りが行われ、お年寄りから子どもまで多くの方が盆踊りを楽しみました。



夕方からは太鼓と笛の音色に合わせて盆踊り♪



ナンバープレートを受け取る佐藤さん(中央)

## 交 オリジナルナンバープレート交付開始 交通安全の願いを込めて

8月1日(火)、町制施行55周年記念事業の1つである「鏡石町オリジナルナンバープレート」の交付が始まり、第1号となった佐藤佳威さん(岡ノ内)に遠藤町長と牧場のあーさー♪からナンバープレートが交付されました。

佐藤さんは「あーさー♪の絵柄が気に入りました。たくさん走って町のPRにつながればと思います。」と喜びを話しました。プレートには、交通安全の「牧場のあーさー♪」が描かれ、利用者への交通安全の願いが込められています。

## 新 沖縄県北谷町長が本町を表敬訪問 新たな交流に向けて

8月7日(月)北谷町長をはじめ、商工会、町役場、観光協会職員が鏡石町役場を表敬訪問しました。

訪問に先立ち、6日(日)には鏡石ふるさと祭りにブースを出店し、7日(月)には両町長が福島空港を訪問して福島空港と那覇空港の直行便復活についての要望活動を行いました。

その後町役場へ移動し、遠藤町長からは改めて震災時の援助への感謝の言葉が述べられたほか、今後の新たな交流に向けた意見交換が行われました。



関係者で集合写真



小林代表取締役(左)と遠藤町長(右)

## 避 東北旭紙業協定書調印式 難者の環境改善を

8月17日(水)役場第一会議室で、東北旭紙業株式会社との「災害時における段ボール製品の支援協力に関する協定書」の調印式が行われました。

調印式では、東北旭紙業株式会社の小林裕明代表取締役と遠藤町長が調印を交わし協定を締結しました。協定によって、災害時には段ボール製のシートや簡易ベッドなどが提供されることとなり、避難所等での避難者の環境改善が期待されます。